

令和6年度第5回涌谷町地域公共交通会議 議事録

1 日時

令和7年3月18日（火）13時30分から14時まで

2 場所

涌谷町役場 本庁舎2階 大会議室

3 議事録

（事務局）本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

ただいまから令和6年度第5回涌谷町地域公共交通会議を開催いたします。

出席者の紹介につきましては、大変恐縮ですが、時間も限られておりますので、お手元に配布しております出席者名簿にて代えさせていただきます。では、会議の開始に先立ちまして、会長の涌谷町長遠藤稯雄からご挨拶をお願いしたいと思います。

（遠藤会長）本日、涌谷町地域公共交通会議開催にあたり、宮城大学 徳永幸之（とくなが よしゆき）教授をはじめ、多くの御関係者の皆様にご出席いただきましたことに厚くお礼申し上げます。

今回の会議では、今年度における本会議の目標でございました、涌谷町地域公共交通計画の策定を議題としており、これまでの集大成となるものと認識しております。これも、委員の皆様の尽力のおかげと認識しております。この場を借りて感謝申し上げます。

計画を策定したから良いというものではなく、重要なのは、計画に基づいた施策を推進し、町民の皆様の足を確実に確保する地域公共交通を構築することと考えておりますので、来年度以降も、これまで同様のご支援いただければ幸いです。

本日は短い時間ではありますが、活発な協議をすることができればと考えております。関係各位のご支援、ご協力をお願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。

（事務局）ありがとうございます。それでは今後の進行につきましては、遠藤会長をお願いしたいと思います。遠藤会長お願いいたします。

（遠藤会長） それでは皆様よろしくをお願いいたします。それでは、次第の3の報告事項に入ります。

（1）涌谷町地域公共交通計画の策定について 事務局より説明をお願いいたします。

【事務局より説明】

（遠藤会長） ただいま説明のありましたことについて、何かございますか？

(徳永委員) アウトプット指標について、やったということではなくその内容が重要だと思いますので、しっかり PDCA 回しながら実行していただければと思います。

(事務局) アウトプット指標については、重要施策に絡む大きなものを計画に記載しております。もちろんそのほかにも実施していかないといけない事業もございますので、内容等も含めて、交通会議でご報告させていただきます。

(小野委員) バスの再編について、計画期間を令和 12 年度までとしておりますが、その中で当然、人口減少等で状況が変化すると思います。そのような場合は対応していくということですか？

(事務局) 計画の施策 1 利用実態・移動ニーズに応じた町民バスの最適化については、一回やって終わりではなく、当然、その時の状況に合わせて見直しを行っていくものです。そのために成果指標を設定しております。

(遠藤会長) それでは、涌谷町地域公共交通計画の策定について、議決を取りたいと思います。皆様よろしいでしょうか。

【全委員賛成】

(遠藤町長) それでは、交通会議としまして、承認いたします。この計画を方針としまして、今後事業を進めていきたいと思います。

(遠藤会長) 次の議題に移ります。

(2) 令和 7 年度収支予算案について 事務局より説明をお願いいたします。

【事務局より説明】

(遠藤会長) ただいま説明のありましたことについて、何かございますか？

(遠藤会長) よろしいでしょうか。では、決議を取りたいと思います。皆様よろしいでしょうか。

【全委員賛成】

(遠藤会長) それでは、令和 7 年度収支予算案について承認いたします。

(遠藤会長) 次の議題に移ります。

報告事項 (1) 町民バスのダイヤ改正について 事務局より説明をお願いいたします。

【事務局より説明】

(遠藤会長) 皆様よろしいでしょうか。では、次の議題に移ります。(2) 町民バスにおけるダウンサイジングの実施について 事務局より説明をお願いいたします。

【事務局より説明】

(遠藤会長) ただいま説明のありましたことについて、何かございますか？

(徳永委員) ハイエース車両だと、町民バスだと分かりづらいということもあるのですが、表示はどのようにするのですか？また、ステップが高いということもあるのですが、追加のステップであるとか、何か用意するのでしょうか？

(事務局) 現状では、マグネットによる表示を想定しております。計画の中で、ラッピング車両の運行も位置付けておりますので、そのあたりは今後、検討していくものと考えております。また、現在の町民バス車両よりも乗り降りはしやすいものと考えておりますので、特にステップ等も検討はしておりません。

(小野委員) 車いすは乗れませんよね？

(事務局) 車いすは想定しておりません。現在の町民バスも車いすでの乗車はできないので、そのあたりも課題であると事務局として考えております。

(徳永委員) ハイエースでの車いす利用はあまり事例がない気がします。改造で対応できなくもないのですが、乗車人数はかなり限られますので。

(遠藤会長) よろしいでしょうか。公共交通については、高齢化の中で地域の住民が最大限元気に暮らしていけることにつながると考えておりますので、少しでも計画の内容を推進していただければと思います。

では、そのほか委員の皆様から何かございませんか？

(小野委員) 路線の再編については、バスが走るコースも変えるということでしょうか？小里循環線は、うちの行政区の近くは走らず、要望として町に文書も出したこともありますので、その辺をお伺いしたいです。

(事務局) バス路線の再編ということで来年度での取組になるかと思います。交通空白地への対応は、タクシー助成やデマンド交通など新たな交通モードを含めて総合的に判断してまいります。

(遠藤町長) そのほかございませんか？では、事務局にお返しします。

(事務局) ありがとうございました。では、御承認いただきました計画については、町のホームページにて公開させていただきます。また、次回の会議については、令和7年5月頃をめどに開催させていただきます。

 以上を持ちまして、令和6年度第5回涌谷町地域公共交通会議を終了します。